

Dialogue 34 Telling someone not to do something -しないようにという-

教室での活動案

アクティビティ名：「**やめてやめて！**」

パートナーがやっている動作を見て、しないように言ってやめてもらう活動。

Target Expression: **Would you mind not** ～?

用意するもの：

動作の指示が書かれた紙（カード）

（絵でも日本語でも良い。ペアの1人かグループの半分が持ち、読んでその動作をする）

動作の例： 走る(run)、跳ぶ(jump)、歌う(sing)、しゃべる(speak)、
笑う(laugh)、手をたたく(clap your hands)、 など

- ① いろいろな動作の指示を生徒にあげてもらい、英語での言い方を一緒に練習したあとでそれぞれの動作をペアまたはグループの数だけ紙に書き、それを動作ごとに切り離してカードを作る。
- ② 生徒はペアまたはグループになり、順に動作の紙(カード)をひいてその動作をする。
- ③ 他の生徒はその動作を見て、その動作を「してはいけない」と注意する。
- ④ ペア・グループで練習が終わったら、何ペアか当てて、それぞれに発表してもらう。

例)

(Student B は「跳ぶ」と書かれた紙を見て跳びはねる。)

Student A: (B が跳んでいるのを見て) Would you mind not jumping?

Student B: Ok. (A が走っているのを見て) Don't run.

Student A: Ok.

生徒 A：跳ぶのをやめてもらえる？

生徒 B：うん。走らないで。

生徒 A：はい。